

2023年11月30日

各 位

「SDGs 応援リース」の契約及び寄付について

株式会社山形銀行（頭取 佐藤 英司）の100%子会社山銀リース株式会社（社長 柿崎 正樹）は、株式会社平田牧場（代表取締役 新田 嘉七）のSDGsの促進に資する設備導入において、「SDGs 応援リース」を下記のとおり契約いたしました。

また、2023年12月4日、当社が拠出するリース料の一部と株式会社平田牧場が拠出する資金を合わせ、酒田市社会福祉協議会「子ども食堂」に寄付することとなりましたのでお知らせします。

「SDGs 応援リース」はお客さま及び地域のSDGsを促進することを目的とする商品です。商品の特徴として、お客さま及び当社で選定したSDGsの促進に向けた取組みを行っている団体へリース契約額の0.2%相当額を寄付いたします。

当社はこうした取組みを通じて、お客さま及び地域社会のSDGsへの取組みを全力で支援してまいります。

記

契約企業名	株式会社平田牧場
代表者	新田 嘉七
所在地	山形県酒田市みずほ2丁目17-8
事業内容	畜肉(豚)生産・食肉加工・販売・外食・観光他
SDGs 促進に資する設備	全自動深絞真空包装機一式 ビジネスフォン一式 他4物件
契約概要	契約日 2022年9月28日 物件価額 79百万円 リース期間 7年 契約日 2023年5月24日 物件価額 2百万円 リース期間 5年 他4契約 物件価額 22百万円 リース期間 5~7年
企業の特徴・SDGs 促進に向けた取組等	詳細は別紙1参照
寄付	寄付先 社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会 寄付品 現金 207,195円 詳細は別紙2参照
対応するSDGs	<物件によるSDGs促進>    



以上

本件に関するお問い合わせ先
山銀リース株式会社 庄内営業部
山口・仲條
TEL 0234-23-5814

1. 企業概要

- (1) 企業名 : 株式会社平田牧場
- (2) 代表者 : 新田 嘉七
- (3) 所在地 : 〒998-0853 山形県酒田市みずほ 2 丁目 1 7 - 8
- (4) 資本金 : 100 百万円
- (5) 設立 : 1967 年(昭和 42 年)2 月 15 日
- (6) 従業員 : 約 600 名
- (7) 主要品目 : 畜肉(豚)生産・食肉加工・販売・外食・観光他

2. 「SDGs 応援リース」 契約内容

(1) 【設備】 全自動深絞真空包装機 一式

①酒田京田ミートセンターでは製品を包装する袋内の空気を除去し、真空状態にする全自動深絞真空包装機を新たに 2 台導入しました。この全自動深絞真空包装機で精肉を包装した場合、一般的な包装の場合で消費期限 3 日程度のところ、1 週間ほど保存期間を延ばすことができます。賞味期限が延びることによりフードロス削減につながります

さらに賞味期限が延びることによって「配達エリアの拡大」、「販売機会のロスを減らす」など、収益構造の改善効果も期待されます。

②契約日 2022 年 9 月 28 日 物件価額 79 百万円

(2) 【設備】 ビジネスフォン 一式

①酒田京田ミートセンターでは、ビジネスフォンを導入し、社員間の業務通話を従来の電話回線を用いた音声通話から、インターネットのデータ通信を用いた IP 通話へと切り替えました。

IP 電話の最大の特徴は社員間の通話を内線化し、専用電話機を不要とすることで、個人が所有しているスマートフォンにインストールしたアプリを介した内外線の通話が可能となり、Wi-fi 環境を利用するなどして通話コストを抑えることができます。

また、インターネット環境さえあれば、誰がどこにいてもダイレクトでコンタクトを取ることが出来るため、保留転送機能を活用することで、電話の取り次ぎ業務や折り返し業務を削減し、より基幹業務へ注力できるようバックオフィスの業務改革につながります。

②契約日 2023 年 5 月 24 日 物件価額 2 百万円

(3) 寄付先 酒田市社会福祉協議会【子ども食堂】酒田市内 5 ヶ所

- ①「庄内ちいき食堂」
- ② 子ども食堂「キッチンおとひめ」
- ③「酒田市子ども食堂」
- ④「酒調こども食堂」

⑤ 「つるかめ食堂」

(4) 設備投資による SDGs 促進

- No.3 「すべての人に健康と福祉を」
- No.7 「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」
- No.8 「働きがいも経済成長も」
- No.9 「産業と技術革新の基礎をつくろう」

(5) 寄付による SDGs 促進

- No.1 「貧困をなくそう」
- No.2 「飢餓をゼロに」
- No.3 「すべての人に健康と福祉を」
- No.4 「質の高い教育をみんなに」
- No.11 「住み続けられるまちづくりを」
- No.17 「パートナーシップで目標を達成しよう」

3.平田牧場の SDGs への取り組み経緯・取り組み内容

(1)平田牧場では、長年取り組んでいる食料自給力向上と食味 UP を同時に実現する「飼料用米プロジェクト」を中心に、子どもたちの未来と、持続可能な社会の実現に向け、昔ながらの畜・農が連携する自然な方法で農地の保全と資源の循環を推し進めています。

(2)生産能力向上のため、2023年9月に「平田牧場 酒田京田ミートセンター」を稼働させました。環境負荷に配慮した最新鋭の食肉加工工場であります。

天井と壁には遮断材を設置、ボイラーには CO2 排出量がより少ない LPG ボイラーを採用。空調に関わる電力は、屋根の上に配置した 544 枚の太陽光パネルで発電し自家消費、CO2 排出量を可能な限り抑制しています。

場内には5台分の電気自動車用充電ポートを設置しており、EV 車、PHEV 車を導入しています。

ご参考 平牧アクション～健康な豚はおいしい～ <http://youtu.be/Sb3yetyaZiM>

4.酒田市「子ども食堂」における SDGs への取り組み内容

(1) 子ども食堂の大きな目的の一つは、「にぎわいづくり」です。

「地域の人たちが集まる場をつくろう」「みんなで食べるって楽しい」という理念実現を介して孤独対策や食育にも貢献できます。

(2) また「お母さんたち(親御さん)にほっとできる場所を」「お年寄りが地域の子どもたちと触れ合う機会を」と広がっているのが、「子ども食堂」です。

農林水産省では、子ども食堂の定義を「地域住民等による民間発の取り組みとして、無料または安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供する取り組み」「家庭における共食が難しい子ども達に対し、共食の機会を提供する取り組み」としています。

- (3) 食は、栄養だけでなく、興味・関心や意欲向上など、心身の健康に大きく寄与します。
草の根の取り組みは地域の顔が見える関係づくり、子どものみならずお年寄りも含めた地域コミュニティ形成に寄与します。
- (4) 実在する課題の多くは、保健・福祉・労働、教育等、複数視点で社会一体での取り組みなくして解決できません。
SDGs の思いは「世界の持続可能な開発・発展・成長・活性化・にぎわいは、誰一人とり残さない世界の実現によって可能になる」とされており、「真のにぎわいは、誰一人取り残さない地域の実現によって可能となる」という『子ども食堂の思い』と同一であり共通しています。
- (5) 酒田市「子ども食堂」の活動は SDGs の、
- No.1. 「貧困をなくそう」
 - No.2. 「飢餓をゼロに」
 - No.3. 「すべての人に健康と福祉を」
 - No.4. 「質の高い教育をみんなに」
 - No.11. 「住み続けられるまちづくりを」
 - No.17. 「パートナーシップで目標を達成しよう」
- という目標に直接関わってくるものであると考え、当社はその活動を支持するものです。

以上

1. 寄付品贈呈式

- (1) 日 時 : 2023年12月 4日 (月) 午前 11:00~ 30分程度
- (2) 場 所 : 社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会
- (3) 出席者 : 株式会社平田牧場 専務執行役 茂木 陽一 (モキ ヨウイチ)様
 同上 社長補佐 三浦 仁 (ミウラ ヒトシ)様
 酒田市社会福祉協議会 会長 桐沢 聡 (キリサワ サトシ)様
 同上 常務理事兼事務局長 菊池 裕基 (キクチ ヒロキ)様
 同上 事務局次長兼地域福祉課長 梅木 和広 (ウメキ カズヒロ)様
 山銀リース株式会社 代表取締役 柿崎 正樹 (カキザキ マサキ)
 同上 庄内営業部 部長 山口 浩典 (ヤマグチ ヒロノリ)
 同上 庄内営業部 部長代理 仲條 真 (ナカジョウ シン)
- (4) 寄付品 : 現金 207,195 円
(当日は目録手交とさせていただきます)
- (5) その他 : 報道機関各位には、是非取材いただけますように、お願いいたします。

以上